

科目名	放送メディア教育特論	担当教員	岡元 隆治
科目属性	専門科目群E	単位数	2単位（面接0.5）
<p>【授業概要】</p> <p>この講座では、活字・映像・インターネットと移行行くマスメディアに焦点を当て、メディアの特性を幅広く学びます。特に、テレビを中心とした放送メディアについては、映像取材や映像編集、演出の範囲などの問題について、実例を挙げて説明し、理解を深めていきます。</p> <p>また、メディア・リテラシー教育では、視聴者サイドだけでなく、制作側の状況も説明して、立体的に解説を加えます。メディアとの正しい付き合い方は、この授業の重要なテーマです。</p> <p>講師は、テレビ局の記者・幹部として長年取材活動を行い、放送ジャーナリズムに精通しています。視聴率やコマーシャルなどの基礎知識も説明しながら、メディアとジャーナリズムの世界を解き明かしていきます。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マスメディアについて、体系的に理解をする。 2. 放送メディアの基礎知識を取得し、その特性を理解する。 3. リテラシー能力を高め、メディア・リテラシー教育の力を身につける。 4. 放送メディアとネット社会の近未来を考察する。 			
<p>【授業計画】</p> <p>担当教員が本講座用に作成したテキスト「放送メディアとリテラシー」並びに、参考図書「メディアと日本人」に沿った内容で、スクーリングを実施します。また、この場で、レポート作成についての指導も行います。</p> <p>レポート（3000字程度）は、メディアやジャーナリズムの関係するテーマなら自由ですが、スクーリング後、2週間程度で提出してもらいます。</p> <p>その後の、科目習得試験は、テキストや参考図書に沿った設問への解答（300字程度）が数問と、与えられたテーマに沿った小論文（1500字程度）を組み合わせます。</p> <p>そのうえで、下記のような割合で評価を行います。</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>評価は、スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、「科目修得試験」（50%）の割合で行います。</p>			
<p>【教科書】</p> <p>「放送メディアとリテラシー教育」（受講者にはメールにて配布）</p> <p>「メディアと日本人」岩波新書 ISBN978-4-00-431298-7</p>			
<p>【参考図書】</p> <p>「日本のいちばん長い日」文春文庫 ISBN978416748315</p> <p>「テレビ視聴の50年」NHK出版 ISBN4-14-007213-X</p>			